

かごしまの食育

～地産地消を基本とした健康で豊かな食生活の実現のために～

鹿児島県ならではの豊かな食文化や農林水産業を生かして、かごしま版食事バランスガイドの普及啓発や、郷土料理等の継承推進、農業体験等の取組への支援など、ライフステージに合わせた、県民の健康で豊かな食生活の実現を図っています。また、子どもたちに対する食育を促進するため、食育支援体制を通じた体験活動への支援や食育に携わる指導者等を対象にした「食と農の指導者研修」を実施しています。



市町村等の取組支援
(小学校での農業体験)



食と農の指導者研修
(左:ワークショップ, 右:農業体験と通じた生産者との交流)



若い世代への県産食材の理解促進 ～かごしまおいしいものプロジェクト～

若い世代への県産食材の理解促進を図るため、学生等を対象に県産食材の新たな活用方法や効果的なPR方法等のアイデアを募集し、その実践を支援する「かごしまおいしいものプロジェクト」を実施しました。県内10校から89件の応募があり、書類審査を経て3件のアイデアを採択し、専門家のアドバイスのもとアイデアの実現に向けた学生たちの取組を支援しました。

アイデア名	みておいしい, 食べておいしい 鹿児島推し鶏選手権	地域のおいしいさ再発見！ ～シン・霧島リユース～	わっぜ鹿児島うまかもん
提案者	鹿児島大学 学生（個人）	霧島高等学校 生徒（グループ）	神村学園高等部 生徒（グループ）



大学生と飲食店がコラボし
鶏料理のメニューを開発・PR
(鹿児島大学)



地域の生産者と連携し、
里芋の親芋を使った「がね」
の開発(霧島高等学校)



柑橘の食育カルタの作成や
料理等の開発による県産食材の
PR(神村学園高等部)



プロジェクトの取組成果を
発表